

## 水力発電の仕組み

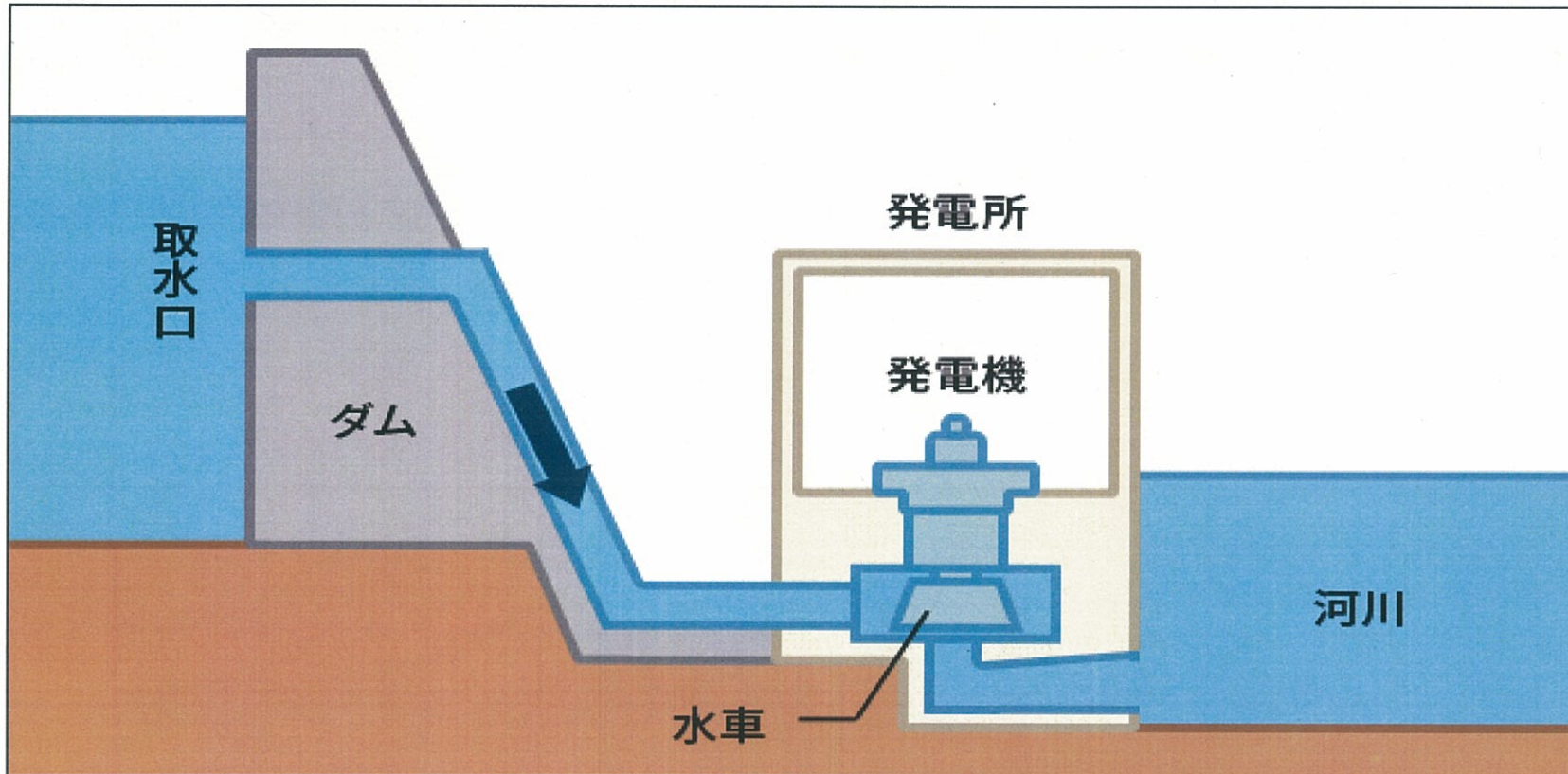
水の持つ位置のエネルギーを使い、発電する仕組みです。

発電能力  $P$  (kW) =  $9.8QH\eta$  (重要公式)

9.8: 重力加速度、 $Q$ : 水の流量 (m<sup>3</sup>/秒)、 $H$ : 有効落差 (m)  $\eta$ : 効率

ダムから、導水管を通り、水車に水を通します。水車の動力で発電機を回し、発電します。

夜間に余った電力（夜の方が電力の需要が少ない）を使い、下の池から上のダムに水を上げる仕組み持つ発電所を揚水発電所といいます。



図の出典：YAHOOジャパン